

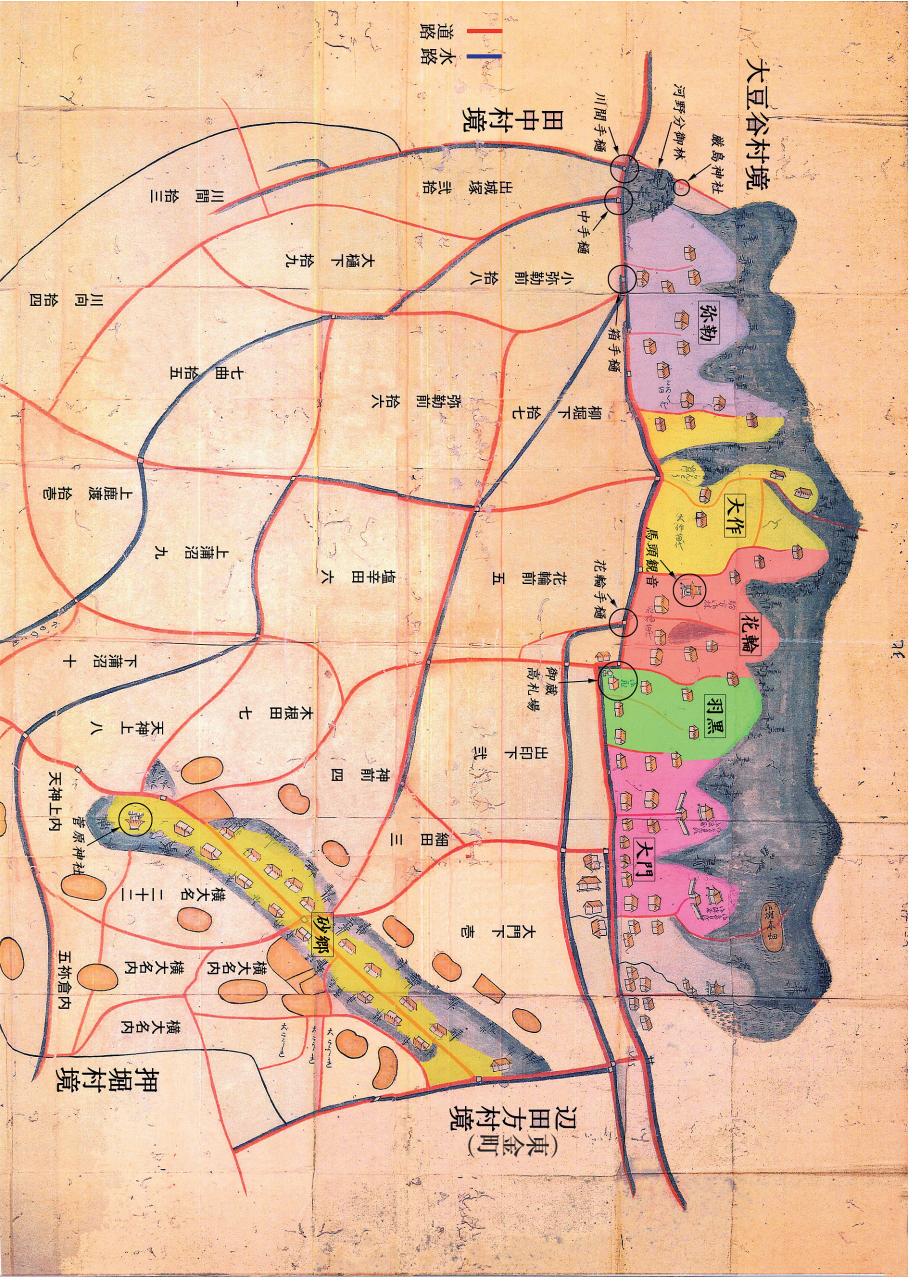
渡辺尚志
●編

相給村落からみた近世社会


岩田書院

上総国山辺郡台方村の総合研究

近世方村全圖



「旧台方村絵図」をもとに、入地名等を加筆（色分け）して作成。

台方村は、北部に山林をかかえ、谷沿いには集落が形成され、さらに中央部から南部にかけては耕地と砂郷集落で形成されていたことがはっきりとわかる。

相給村落からみた近世社会 目次

序章

- 一 本書の課題 5
- 二 本書の概要 7
- 三 近世台方村の概要 13

渡辺 尚志
中谷 正克 5

第一章 台方村の村運営

——入地、知行所「組」、知行所「入地組」の分析から——

中谷 正克 29

はじめに 29

- 一 祭礼時の棧敷割当てと入地呼称 31
 - 二 入地百姓としての活動と入地運営 44
 - 三 松平知行所「組」運営 54
 - 四 松平知行所「組」における「入地組」と知行所入用 62
- おわりに 71

第二章 台方村の小集落と知行所……………小松賢司 83

——村運営における入地の位置をめぐって——

はじめに 83

一 台方村における負担処理の概要 86

 役高と年貢高 86 年貢高をめぐる矛盾 92

二 松平知行所の入地組 94

 有原文書のなかの村方文書 94 文政元年名主退役の背景 96

 寛政〳文化期 100 安政年間 128 小括 134

三 入地内の知行所間対立 136

 出入りに至る経緯と双方の主張 137 論点の整理 146

 内済までの経過 153 小括 157

おわりに 158

第三章 近世後期東上総における在払米の形成と流通……………高橋伸拓 167

はじめに 167

一 在払米の形成過程と相場 169

二 在払米の市場と用途 173

三 台方村松平家知行所と他村の事例 179
おわりに 184

第四章 備荒貯蓄にみる百姓・領主関係……………渡辺尚志 191

——「積石一件」を事例として——

はじめに 191

一 研究史の整理 192

二 河野知行所における積石の開始と中止 201

三 嘉永七年の「積石一件」 210

おわりに 224

付 章 地域における「明治維新」の記憶と記録……………宮間純一 235

——真忠組騒動を事例として——

はじめに 235

一 騒動の概略と真忠組の評価 237

二 「黒戸の夢」の流布 242

三 福島藩による絵巻の作成 250

四 豪農が記録する真忠組騒動 257

おわりに
265

あとがき

渡辺尚志
274